

# Book Fan Newsletter

発行:平成26年1月15日

編集:塩尻市立図書館

0263-53-3365

(Book Fan Newsletter 19号)

書店員が選んだ



## 今月のおすすめ本

『タニアのドイツ式部屋づくり 小さな空間ですっきり暮らす整理・収納のコツ』

門倉 多仁亜 / 著 ソフトバンククリエイティブ

タニアさんがドイツ人の母から受け継いできた、合理的で気持ちのいい暮らし方が紹介されています。滞在した各国の家具（日本の古い箆箆も含む）も色調を揃えてすっきりと置く工夫、掃除道具や日常で頻繁に使う物のしまい方、間接照明の活用などアイデアが満載です。美しい写真を見ながら、新年を機に暮らしをみつめたくなる一冊です。

(神田堂 大塚さん)



『ねずみくんとゆきだるま (ねずみくんの絵本)』

なかえ よしを / 作 上野 紀子 / 絵 ポプラ社

大人気シリーズ、ねずみくんの冬のお話。

空から雪が降ってきてねずみくんは大喜び。雪だるまを作ったり、雪合戦をしたり、ソリに乗ったりとっても楽しそう！そこへうさぎくんがやってきてスキーを貸してくれましたが滑ったことのないねずみくんは大変なことに・・・。

ひきこもりがちになってしまう季節ですが外に出て遊んでみたくなる絵本です。

(興文堂平田店 中沢さん)



『ゼロ なにもない自分に小さなイチを足していく』

堀江 貴文 / 著 ダイヤモンド社

時代の寵児と呼ばれた堀江貴文。2年半の収監を経て唯一変わった点が「コミュニケーションに対する考え方」だと自らを語る通り、これまでと違ってとても丁寧に語る彼自身の言葉が詰まっています。

彼の思想や行動パターンは決して突飛なものではなく、誰にも共感でき、そこから勇気をもたらえるシンプルなものだったのだと気づかされます。

(中島書店 小野さん)



『統合失調症がやってきた』

ハウス加賀谷 / 著 松本 キック / 著 イースト・プレス

統合失調症という病にかかり、人気絶頂のさなか突如姿を消した芸人・・・ハウス加賀谷。そして10年後2009年に復活。その間、病気との闘いを通してハウス加賀谷の前向きな姿勢と相方・松本キックのハウス加賀谷への思いを描いた作品です。病の人を優しく包む人生の応援歌です。

(中島書店 清水さん)



『ドラえもんはじめての国語辞典』

小学館国語辞典編集部 / 編 小学館

園児から小学校低学年向けの国語辞典。オールカラーで写真やイラストが豊富に使われており、全ての漢字にふりがながつくなど工夫が満載されています。言葉に興味を持ち始めたお子様にピッタリの辞典です。「ドラえもん」も調べられます！（丸文塩尻書店 金子さん）



この面に掲載されている本の紹介は、市内に本店のある4書店にご協力いただいています。

### ■神田堂 (52-1283)

注文品の迅速な手配を心がけており、地元著者の自費出版本など地域とともに活動しております。

### ■興文堂書店 (58-0323)

平田店にて毎月1回くおはなし会>を行っています。次の予定は1/19(日)、2/16(日)各日午後2時から。

### ■中島書店 (54-3968)

世界遺産登録を記念して、「和食の愉しみ・粋でお洒落な和の暮らしフェア」を開催。1/20～2/16まで。

### ■丸文塩尻書店 (52-5515)

店頭がない本は最短3日でお取り寄せいたします。文具も充実。お子様連れでも安心のキッズスペース完備お待ちしております。

# 図書館員が選んだ

## 今月のおすすめ本

『真鍋博のプラネタリウム 星新一の挿絵たち（ちくま文庫）』

真鍋 博 / 著 星 新一 / 著 筑摩書房

星新一の本というと、あの独特な挿絵が思い浮かぶ方も多いのではないのでしょうか。本書は星新一と長年コンビを組んだ、イラストレーター真鍋博の作品集です。それぞれの挿絵に物語の一部あるいは全文が載っています。結末を想像して読んでみてください。

（文庫担当 伊藤）



『どこにいるかな？（絵本であそぼ！いきものさがし1）』

松橋 利光 / 著 アリス館

カエルやヘビや魚などの生き物は、敵から身を守ったり、獲物に気づかれずにつかまえたりするため、色々な所に隠れています。写真の中に生き物が隠れているので、探してみましよう。ステージ1からステージ3まであり、難易度が高くなっていきます。全問正解すると生き物さがし名人になれる絵本です。

（絵本担当 浦野）



『ウツ妻さん』

早川 いくを / 著 亜紀書房

怠けているだけ、気の持ちよう、などの誤解が多いうつ病ですが、この本を読むと、その認識が覆されます。普段なら気にならないことも、すべて悪いほうに偏ってしまうネガティブ思考や、特撮ヒーローのテーマ曲に夢中になるといった行動の数々。家族の視点からうつ病患者の日常を赤裸々に描き、深刻なはずなのにどこかユーモラスな、気軽に読める1冊です。

（闘病記担当 大深）



『TURNS（2013夏 Vol.5）』

第一プロGRESS

年に4回発行される季刊誌「TURNS」で塩尻が特集されました。塩尻商工会議所の山田さんを中心とした、商店街の活性化への取り組みについて取材されています。

空家プロジェクト「nanoda」の発足から現在の状況がレポートされていて、そこに関わる人達の地元を愛する思いが伝わってきます。

（郷土資料担当 上條）



『超リアル 食品サンプルのつくりかた』

食品サンプル研究会 / 著 グラフィック社

レストランなどで、誰もが一度は見たことのある食品サンプル。この本では、食品サンプルが出来るまでを丁寧に解説しています。自分で作ってみたい人はもちろん、実際の業務用商品やインパクトが大きい食品サンプルアクセサリーの紹介などもされているので、写真を見るだけでも楽しめます。

（芸術分野担当 鳴海）



『古地図読み方・楽しみ方 時代を遡る「今昔」探訪をもっとディープに味わう！』

安藤 優一郎 / 監修 メイツ出版

今、古地図を手に町を散策するのが密かなブームになっています。よく見る江戸切絵図は江戸中期から刊行され、当時は正確さより見やすさが重要視されていました。

また“火事と喧嘩は江戸の花！”というように、江戸の古地図には防災マップの役割をしているものもあります。今まで知らなかった古地図の楽しみ方を発見することができます。

（歴史分野担当 米山）

